

# 第1次開催要綱

集まる 深める 広げる  
 みんなで 紡ぐ 学びの場

## 第16回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 北海道

兼 北海道高教組 第2回学校職場づくり学習会  
 (9日 教育フォーラム 高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育)

日 程：1月7日(土)

～ 9日(月)



参加費：3,000円(1日のみ参加は2,000円、  
 フォーラムのみ参加1,000円)

会 場：かでの2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)

アクセス：市営地下鉄「さっぽろ」大通駅間の公共地下歩道1番出口より徒歩4分  
 JR「札幌」駅南口より徒歩13分・市営地下鉄「さっぽろ」駅10番出口徒歩9分

7 日 (土)			13:00- 受付	14:00- 15:00	15:00- 17:00	18:30-
	会 場		かでの2・7		開会全体会	記念対談 山田隆司氏 戸田竜也氏
8 日 (日)	9:30-11:30	屋 食 休 憩	12:30-17:00		18:30-	
	・てんこ盛り講座 ・文化バザール		・基礎講座 ・旬の実践分科会(12の分科会)		交流会(各県ブ ック・青年・障害 児学級ごと)	
かでの2・7				高校センター 労働センター		
9 日 (月)	9:30-12:00					
	教育フォーラム (兼 北海道高教組 第2回学校職場づくり学習会)					
かでの2.7						

主催：全教障害児教育部・教組共闘連絡会・現地実行委員会  
 【お問い合わせ】TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

## 全体会(1/7) 14:00~17:00

- ◇ オープニング
- ◇ 実行委員長あいさつ
- ◇ 現地企画
- ◇ 現地あいさつ
- ◇ 基調報告

◇記念講演 15:00~16:50

### 『学校は力を合わせてつくるもの ~子どもから学ぶこととは?~』

対談：山田 隆司氏 (元雨竜高等養護学校)

戸田 竜也氏 (北海道教育大学釧路校)

## 全体交流会(1/7)18:30~

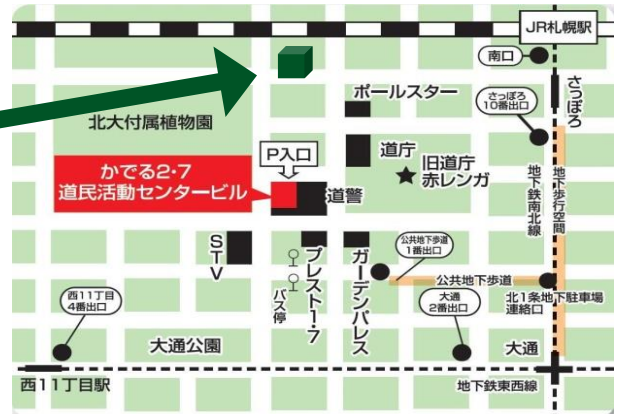
会場：京王プラザホテル

札幌市中央区北5条西7丁目 2-1

TEL：011-271-0111

※かでの 2・7 より北へ2ブロック先

参加費 6,000 円



## てんこ盛り講座(1/8) 9:30~11:30

講座名	講師
わくわくどきどき楽しい国語	平川 美和 さん (北海道)
わくわくどきどき楽しい算数	櫻庭 喜美雄さん (北海道)
わくわくどきどき楽しい美術	数土 浩行 さん (北海道)
障害の重い子の発達を学ぶ	竹脇 真悟 さん (埼玉)
医療と教育	市橋 博子 さん (北海道)
キャリア教育を考える	未 定 (滋賀)
障害児教育の豊かな条件づくり (定数・設置基準を学ぶ)	土方 功 さん (全教障教部)
障害児学級での授業づくり・学級づくり	全教障教部事務局
集まれ臨時教職員	加川 達仁 さん (北海道)

## 文化バザール(1/8) 9:30~11:30



講座名	講師
ウクレレ講座 (会場；高校センター)	桑原 岳夫 さん (北海道)
カラーセラピー	木村 幸恵 さん (北海道)
教材あれこれ	小笠原 智 さん (北海道)
アイヌ文化講座	大脇 徳芳 さん (少数民族懇談会)
自分たちの歌づくり (会場；エルプラザ)	金谷 しほりさん (北海道)
歩くスキー・スノーシュー体験 (会場；中島公園)	能條 歩 さん (北海道教育大学)

## 基礎講座(1/8) 12:30~17:00

講座名	講師
「発達」っておもしろい	三木 裕和 さん(鳥取大)
えがこう!豊かなインクルーシブ教育の未来 ~発達保障の視点を大事に~	荒川 智 さん(茨城大学)

## 旬の実践分科会(1/8) 12:30~17:00

旬の実践分科会	共同研究者
1,障害児学級での教育実践	越野 和之 さん(奈良教育大)
<<Re>>山本 仁史(北海道)「北みの国から ~さくら学級の2年間~」 今村 祥子(東京)「自然や社会事象に興味関心がもてる子どもに育てたい!」 長迫 稔(広島)「中学生のプライドに応える授業づくり」	
2,通常学級・通級指導教室での教育実践	戸田 竜也 さん(北海道教育大)
<<Re>>宮澤 靖彦(北海道)「通級指導教室ができることはなにか」 山下 洋児(東京)「東京の通級指導の実践と特別支援教室の課題」 田川三枝子(滋賀)「通級指導教室に通う子どもたちを見つめて」	
3,発達障害児の教育実践(小・中・高)	二通 諭 さん(札幌学院大)
<<Re>>※北海道で検討中 村田 豊(神奈川)「就労と向き合えないA君の願いと指導アプローチ」 熊本 勝重(大阪)「友だちと仲良くなりたいコオ君」	
4,視覚障害児の教育実践	川野 史恵 さん(岡山)
<<Re>>木下 学(北海道)「小学部・中学部の算数・数学の授業を通して」 寺田健太郎(埼玉)「ホームドアをつけてくださいー小学部での主権者を育てる取り組みー」 宗像 真弓(東京)「一人一人が輝く生活を目指して~文京の新たな取り組み~」	
5,聴覚障害児の教育実践	竹澤 清 さん(日本福祉大)
<<Re>>※北海道で検討中 塚本 明美(茨城)「音を感じて、ことばにつなげる」 柿沼 孝仁(神奈川)「横浜ろう学校の交流教育について」	
6,病弱の子どもたちの教育実践	佐藤 満 さん(札幌学院大)
<<Re>>武藤 素子(北海道)「生徒と心通わせながら ~K先生奮闘記~」 南 (愛知)「仲間とともに自分さがし~自分の可能性を仲間と見つめる自立活動の取組~」 吉松 薫(大阪)「病弱部での4年間を振り返って」	
7, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり ア、最重度と言われる子どもたち	河合 隆平 さん(金沢大)
<<Re>>柴山美沙子(北海道)「医療型障害児入所施設での訪問教育の現状~集団学習と個別学習のあり方を考えて」 堀 亨(宮城)「笑顔とはてなを大切に~施設訪問での実践から~」 原田 文孝(兵庫)「訪問教育での『せいかつ』の授業をつくる」	
8, 発達の遅れと授業づくり教育課程づくり イ、ことば獲得期~教科入門の子どもたち~	櫻井 宏明 さん(埼玉)
<<Re>>奥野 愛(北海道)「なないろの軌跡 ~自己表現の力をはぐくむ~」 大平さやか(北九州)「脳性マヒ児のコミュニケーション指導を通して ~T君の想いを伝えていきたい~」 高橋 善洋(滋賀)「I子さんにとっての学校」	
9, 自閉症・自閉的傾向の子どもたちの授業づくり・教育課程づくり	小淵 隆司 さん(北海道教育大)
<<Re>>渡部佳穂里(北海道)「自閉症T君の願い ~発達の要求によりそいながら~」 渡辺 まみ(東京)「響きあう世界をもとめて」 山下 紋奈(愛媛)「ぼくのきもち」	

10,青年期の課題と授業づくり・教育課程づくり	白石 恵理子さん(滋賀大)
《Re》山田 勇氣(北海道)「演劇で学校が、教育が変わる」 森竹 美文(静岡)「人と関わる力を高めるために」 中尾久美子(和歌山)「エレベーター、のりたーい ～Rくんの育ちを支えるもの～」	
11,性教育の実践	伊藤 修毅 さん(日本福祉大)
《Re》三田村祐二(北海道)「よりよい生き方を考えること ～『性』『生』に関する指導と学校づくり・地域づくりの課題～」 船張 真喜(静岡)「子どもに寄り添う・・・について考える」 立川 都(東京)「子どもたちと素敵な時間を過ごしたくて～悩んで取り組んできた“こころとからだ”勉強」	
12,子どもの生活を考える	小野川文子 さん(名寄大)
《Re》松井 由紀(北海道)「自己有用感を育む生活づくり」 小村修・浅井勇貴(滋賀)「自分らしい生活をつくりだすために～不安いっぱいKくんに寄り添って～」 篠原伊都子(香川)「導尿の確立を目指して、学校と寄宿舎との連携」	

各県・ブロック別交流会

各所ブロック別に計画中

青年交流会

障害児学級交流会

詳細は後日お知らせします

## 教育フォーラム(1/9) 9:30~12:00

	フォーラム名	主な対象	コーディネーター・講師
1	高等学校における特別なニーズをもつ子どもたちの教育	高等学校教職員等	白石 恵理子さん
2	とっておきの授業づくり・学校づくり	すてきな実践を聞きたい方	
3	子ども理解にもとづく教育目標、教育評価	障害児学級・学校教職員	三木 裕和 さん

## 参加のお申し込みについて

### 1、参加の申し込み方法について

※3日目の教育フォーラム1は、「高教組第2回学校職場づくり学習会」との共催です。

※高教組本部にFAXかメール(kokyoso@dokokyoso.jp)お申し込みください。

### 2、参加費について

■ 集会参加費 全日程(3,000円) 7日もしくは8日のみ(2,000円)  
教育フォーラムのみ(1,000円) 学生・保護者(500円)

■ 交流会費(7日) 6,000円

■ 今回の集会はお弁当の販売はありません。会場周辺で各自お願いします。

### 3、交流会(7日)について

※手配の関係がありますので、最終のお申し込みは12月19日(月)までにご報告ください。

※12月26日(月)以降のキャンセルはできません。申し訳ありませんが、全額をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

### 4、申し込み(報告)の締切について

※12月19日(月)【参加者名簿を作成しますので、可能な限りここまでにご報告ください】

※ただし、集会への参加(交流会以外)は当日まで受付いたします。

### 5、参加費のお支払い

※集会当日、受付にて個人ごとにお支払いください。

### 6、問い合わせ(高教組本部 菱木)

■ TEL (011) 231-0816 / FAX (011) 241-8510 / メール kokyoso@dokokyoso.jp